

## かお・人インタビュー

2014年11月11日(火)

楠本敦

国土交通省九州地方整備局  
延岡河川国道事務所

所長・インタビュー



## ◎延岡地区の印象について

出身地の長崎は平地が少なく坂が多いまちですが、延岡は中心市街地を4つの1級河川がゆったりと流れていて、地域全体に広がりがある開放感にあふれたまちだと思います。また、街中には長大橋がいくつも架かっており、歩道部にはバルコニーやベンチも整備され、五ヶ瀬川水系の豊富な水量と水質日本一にふさわしい清流を橋からも眺めることができます。

## ◎延岡河川国道事務所の紹介と26年度事業の概要は

## 【河川事業】

五ヶ瀬川水系は、五ヶ瀬川が延岡市街地の上流で大瀬川と分派し、更に河口付近で祝子川、北川が合流する複雑な河川形態を呈しています。このうち、28.5kmを直轄河川として整備及び管理を行っています。過去の主な水害はほとんどが台風に伴う洪水で、最近では平成17年の台風14号により、床上浸水だけでも1300戸以上の被災を受けています。

平成26年度の主な河川事業は、治水安全度を高めるための河道掘削と堤防の浸透対策、また、水門の耐



恒富地区堤防浸透対策工事

震化とゲートの高速化を行うこととしています。

地域の皆さんや多くのNPO団体、学識者や行政が一緒になって、延岡市のまちづくりと五ヶ瀬川の川づくりを一体化した「五ヶ瀬川かわまちづくり検討会」を立ち上げ、五ヶ瀬川の水辺空間の賑わいを創出して、交流人口の拡大を目的に取り組んでいます。

歴史的土木構造物で、日本で3カ所しか残っていない最古の「畳堤」の保存や、300年以上続く伝統漁

法「鮎やな」などの貴重な土木遺産や観光資源が豊富に存在しており、河川整備や維持管理に併せ、地域の活性化や交流促進河川空間の利活用に取り組んでいます。



五ヶ瀬川かわまちづくりー菜の花

### 【道路事業】

今年3月に東九州自動車道の「北浦～須美江間」と「日向～都農間」が開通し、延岡と宮崎が1本の高速道路で繋がりました。半世紀に及ぶ悲願が達成されたこと、宮崎県北地域の皆さんも大変喜ばれています。

国道の管理区間には、国道10号の85kmと東九州自動車道のうち、新直轄方式で整備した26kmの自動車専用道路を管理しています。

その自動車専用道路は、九地整では唯一設置されている延岡高速維持出張所で管理しており、佐伯河川国道事務所で蒲江～佐伯間の20kmを今年度供用目標に整備を進めていますが、供用後は延岡高速維持出張所での管理を予定しています。



平成26年度の道路事業は、延岡と熊本を繋ぐ「九州中央道」の整備を重点的に進めています。北方延岡

道路のうち、未供用区間の蔵田～北方間4.6kmについては平成27年度供用目標ですが、早期供用への地元の期待が大きいことから、事務所の総力を挙げて急ピッチで工事を進めているところです。

「高千穂日之影道路」については、昨年の10月に安全祈願祭を行い工事に着手しました。地域の協力もあり順調に進んでおり、まもなく延長2、300mの大平山トンネルの掘削工事が始まります。国道10号長井地区の視距改良事業は、長井トンネルの工事も順調に進んでいることから、今年度内に供用することとしています。



東九州道（北浦～須美江）

### ◎防災・減災による安全・安心の住みよい地域づくり

五ヶ瀬川は沢山の自然の恩恵を与えてくれますが、一方では水害も発生します。毎年五ヶ瀬川で開催される、延岡市の防災訓練に参加し、いつ襲ってくるかわからない災害に備えて訓練を行っておくことが必要です。

今年は、宮崎県総合防災訓練を10月19日に県北地区で開催しました。今回は南海トラフの巨大地震発生による津波対応を訓練の主体にしました。

内閣府の資料によれば、宮崎県北地区では最大14mの津波が想定されており、地域の安全・安心確保には津波対策が重要です。発生に備え避難路の確保、復旧・復興に資する道路の確保を図らなければならない



北方延岡道路—北方 IC 付近

と思っています。

### ◎品確法など、いわゆる“担い手3法”に対する取り組みは

公共工事事品質確保促進法、建設業法、公共工事入札契約適正化法の3法律が5月に改正され、現在本省が中心となって、運用指針策定のための意見募集等をはじめたところです。このうち人材確保・育成については、「インターン制度」、「工事現場の見学会」、「親父の日」事業などに取り組んでいます。

### ◎地域建設業界へのメッセージを

県北には3地区の建設業協会がありますが、定期的（年4回）に意見交換会を行っています。最近では、担い手3法や防災についての対応（災害協定等）、女性の雇用、業界のイメージアップなどについて議論させて頂き、地域の安全・安心を守る業界の皆様の活動に大変感謝しています。

### ◎これまでの赴任地の思い出

4年前まで長崎河川国道事務所で道路担当の副所長として、国道497号佐世保道路の供用に携わりました。いろいろと苦労もありましたが、開通式ではこれまでの経過を振り返りつつ、すべての工事が無事完了したことに感謝しながら当日の朝を迎えました。開通式のテープカットや開通パレードでは感極まりました。現在の交通量は予想よりはるかに多い1日3万台以上であり、地域の活性化に貢献していることを誇りに思います。

### ◎生きがいや趣味、特技について

現在、単身赴任で休日はたっぷり時間があります。温泉が好きで、近場の温泉地はほとんど制覇しました。遠出して新たな温泉地を開拓したいですね。



### ◎プロフィール

楠本 敦（あつし） 延岡河川国道事務所 所長  
 昭和32年8月2日 57歳、長崎県西海市出身  
 昭和51年4月 佐賀国道事務所 勤務  
 平成18年7月 長崎河川国道事務所副所長（道路担当）  
 平成24年4月 九州地方整備局道路部道路工事課長を経て現職。